

ジオ太とジオ美の旅

⑪ 目潟火山群と戸賀火山

「今年最後の旅はどこにしようか」「水蒸気爆発について学びたいわ』『それじゃ、全国的に知られる目潟火山群と戸賀火山にしよう』・・・ということで、ジオ太くとジオ美ちゃんは目潟や戸賀湾が眺望できる八望台に出かけることにしました。

ジオパーク学習センターから車で 30 分ほどで八望台に到着。まずは目の前に澄んだ水をたたえた”二ノ目潟”が見えます。そしてその向こうに見えるのは戸賀湾です。振り向くと”一ノ目潟”も見えます。ただし残念ながら”三ノ目潟”は山に隠れてここからは見えません。

「目潟はマグマ水蒸気爆発により生まれた単成火山。東北で唯一のマールと呼ばれる珍しい火口なのよ」「戸賀火山はタフリングと言う形の単成火山だね」と、2人は火山群を目の前にして興奮しています。噴火した年代でみると、戸賀火山は約 42 万年前、一ノ目潟が 6~8 万年前、三ノ目潟は噴出物からみて約 3 万年前の始良丹沢火山灰の降灰の後です。二ノ目潟ははっきりしていません。

また、一ノ目潟は、天然の時計といわれる”年縞”が採取された湖としても知られています。年縞とは、湖沼に堆積した縞模様の堆積物のこと。「全国でも年縞が採取できるのは 10ヶ所ほどしかないんだ」とジオ太くんは自慢げです。ジオ美ちゃんも負けてはいません。「目潟火山の噴出物には上部マントルのカンラン岩が含まれているのよ。マグマによって地上に一気に運ばれた捕獲岩なのよ」と満足そうに話しています。

今年も2人はいろいろなジオサイトで地球の歴史を体験学習しました。「私たちはこのダイナミックな地球に生きているのね」「だからもっと知りた〜い」とジオ太くとジオ美ちゃんは今まで以上に地球が大好きになったようです。そして視線はすでに来年に向けています。



ジオ美ちゃんとジオ太くん 後ろは二ノ目潟



一ノ目潟